



電力自由化を陰で支えるPostgreSQL

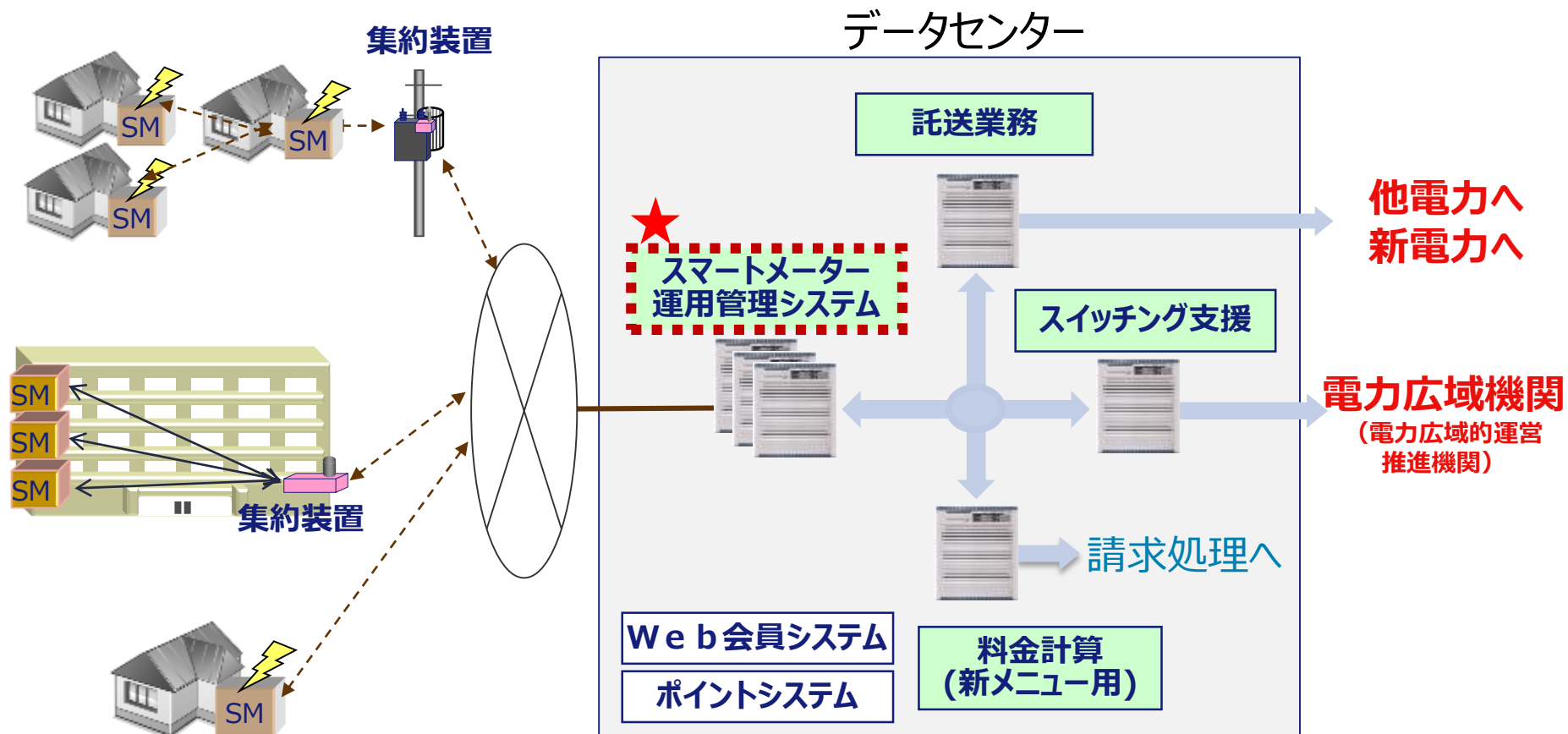
2016年12月2日
株式会社NTTデータ
システム技術本部

PGCONF.ASIA 発表資料

NTT DATA



社会インフラへPostgreSQLを適用する道のり

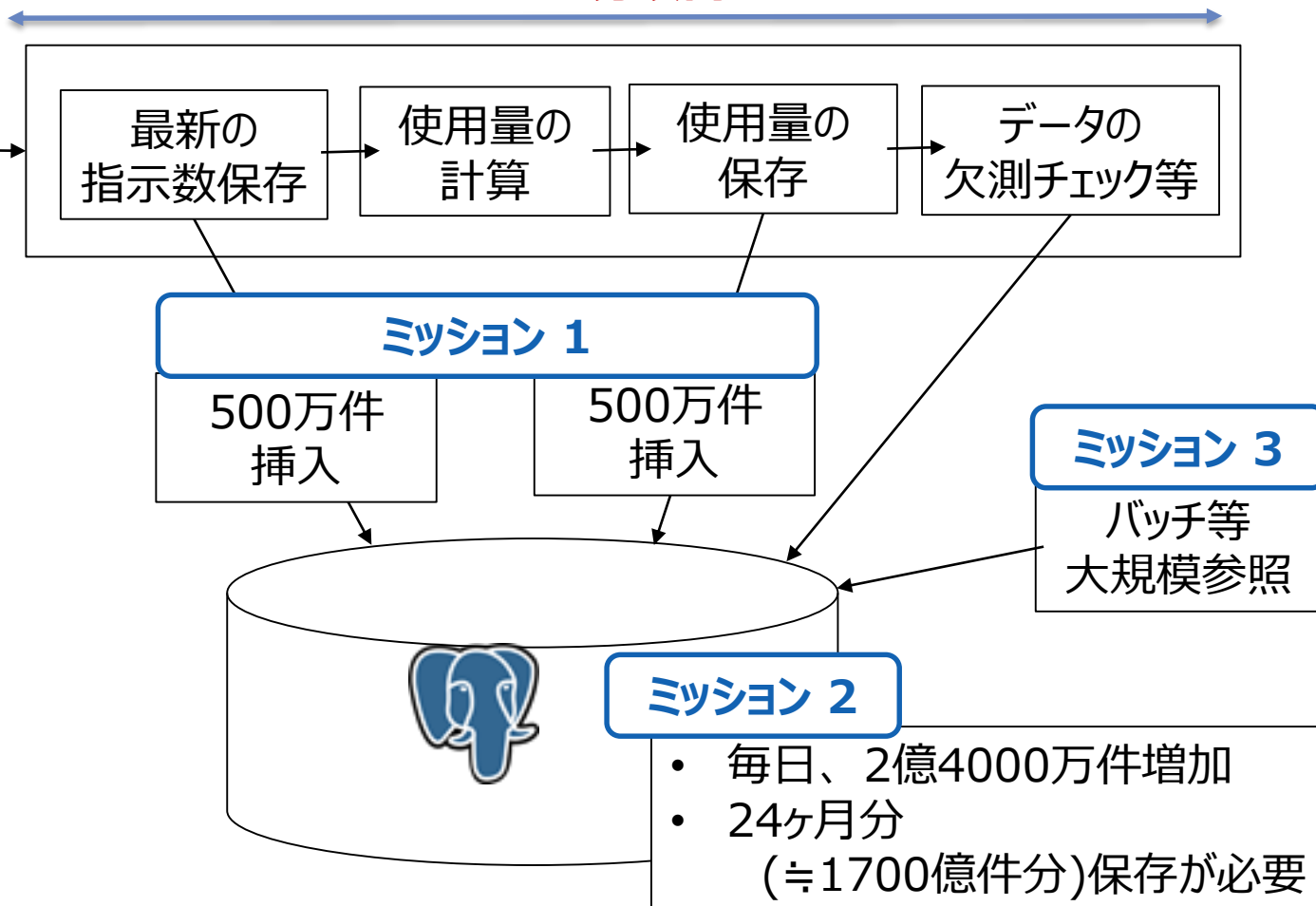


SM:スマートメーター

スマートメーター運用管理システムの主要処理

10分以内

30分おきに500万件の
指示数を収集



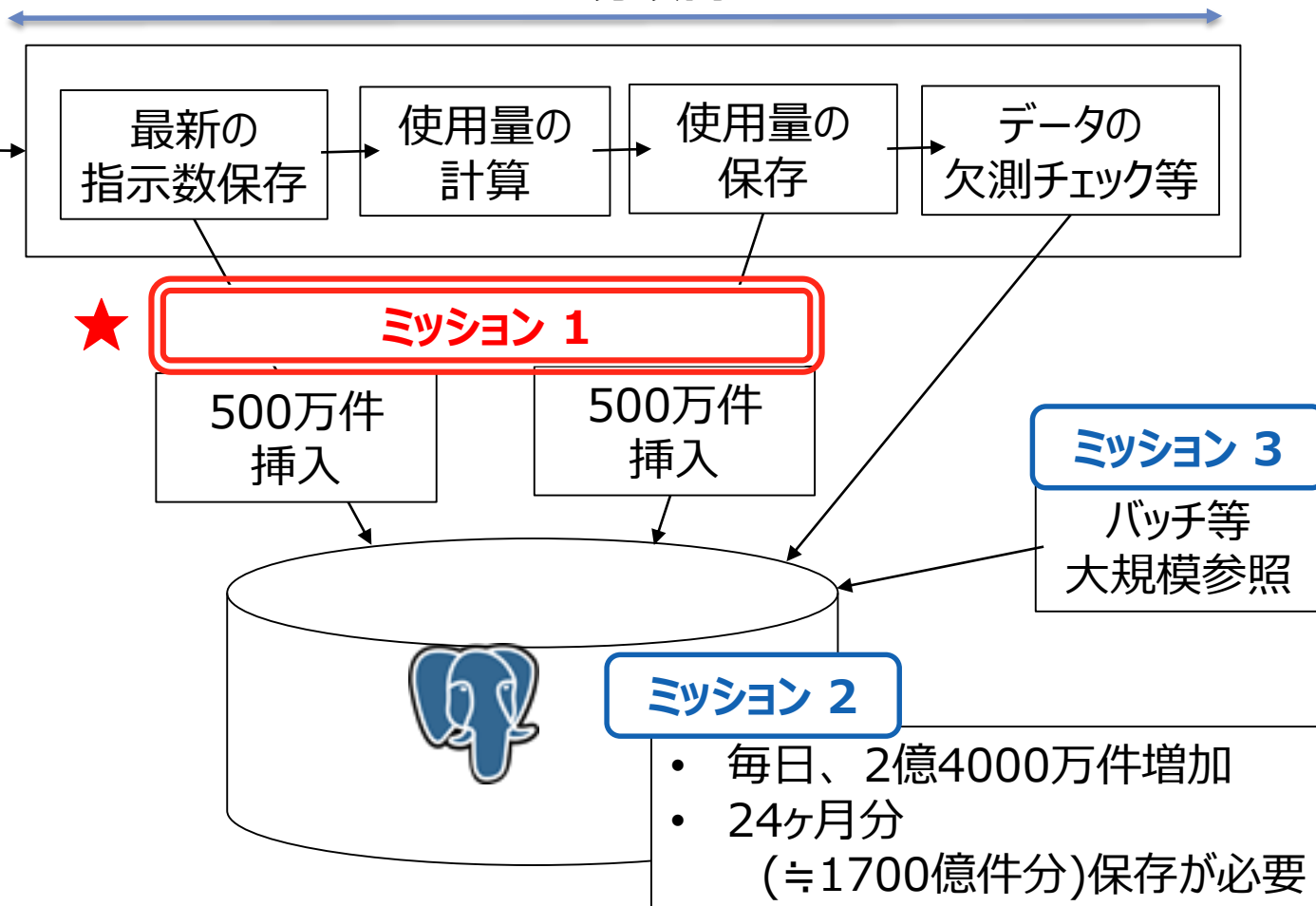
1. 1000万件データを10分以内にロードせよ！
2. 24ヶ月分の大量データを長期保管せよ！
3. 大規模参照の性能を安定化せよ！

(1)1000万件データを10分以内にロードせよ！

スマートメーター運用管理システムの主要処理

10分以内

30分おきに500万件の
指示数を収集



データは「**機器ID**」、「**日時**」、「**指示数**」を含む

例) 機器ID : 1は、8/1 1:00 の指示数は500

方法① : UPDATEモデル

機器ID、**日付**ごとに行を持ち、該当する時間のカラムの値を**UPDATE**

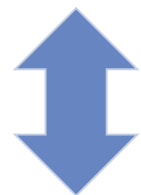
機器ID	日付	0:00	0:30	1:00	1:30	...
1	8/1	100	300	500		
2	8/1	200	400			



PostgreSQLは追記型アーキテクチャを採用しているため、高頻度の更新処理は性能がでにくい。

方法① : UPDATEモデル

機器ID	日付	0:00	0:30	1:00	1:30	...
1	8/1	100	300	500		
2	8/1	200	400			



方法② : INSERTモデル

機器ID、日時ごとに、レコードを**INSERT**

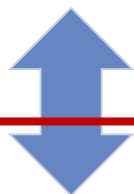
機器ID	日付時刻	値
1	8/1 0:00	100
1	8/1 0:30	300
1	8/1 1:00	500
...

- レコードの追加(INSERT) が速い。
- × テーブルサイズが大きくなる。

方法①：UPDATEモデル

機器ID	日付	0:00	0:30	1:00	1:30	...
1	8/1	100	300	500		
2	8/1	200	400			

格納性能重視で採用！



方法②：INSERTモデル

機器ID、日時ごとに、レコードを**INSERT**

機器ID	日付時刻	値
1	8/1 0:00	100
1	8/1 0:30	300
1	8/1 1:00	500
...

- レコードの追加(INSERT) が速い。
- × テーブルサイズが大きくなる。

性能ファクターを洗い出して事前検証

多重度の
最適値？

インデックス？

パラメータ？

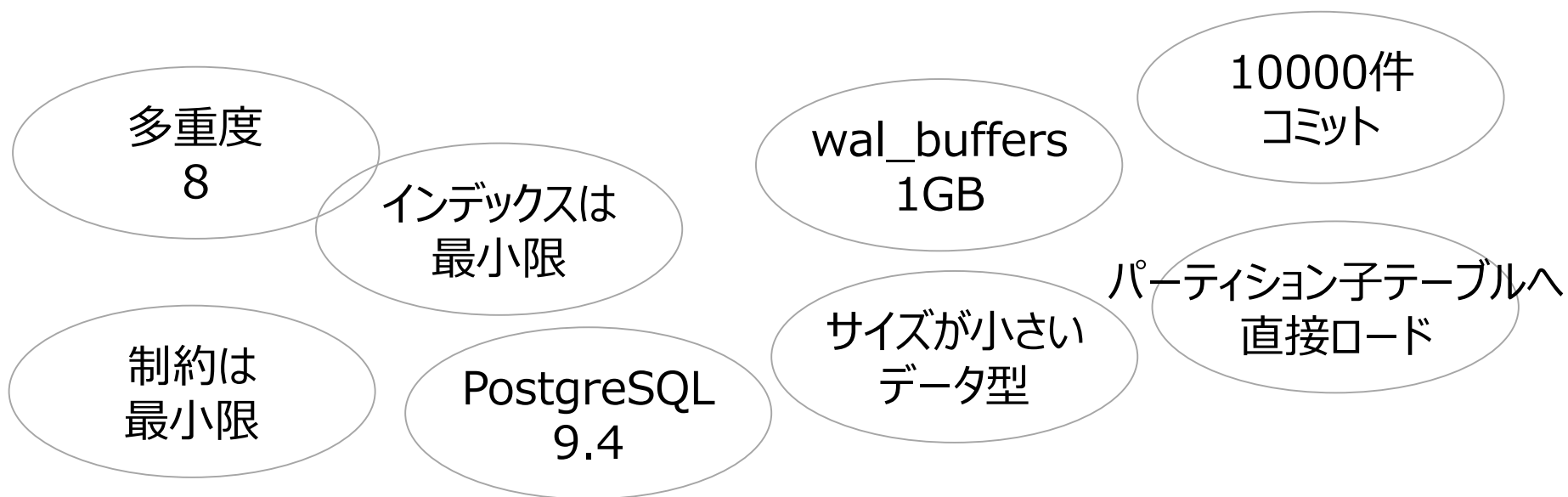
何件おきに
コミットすべき？

制約の有無？

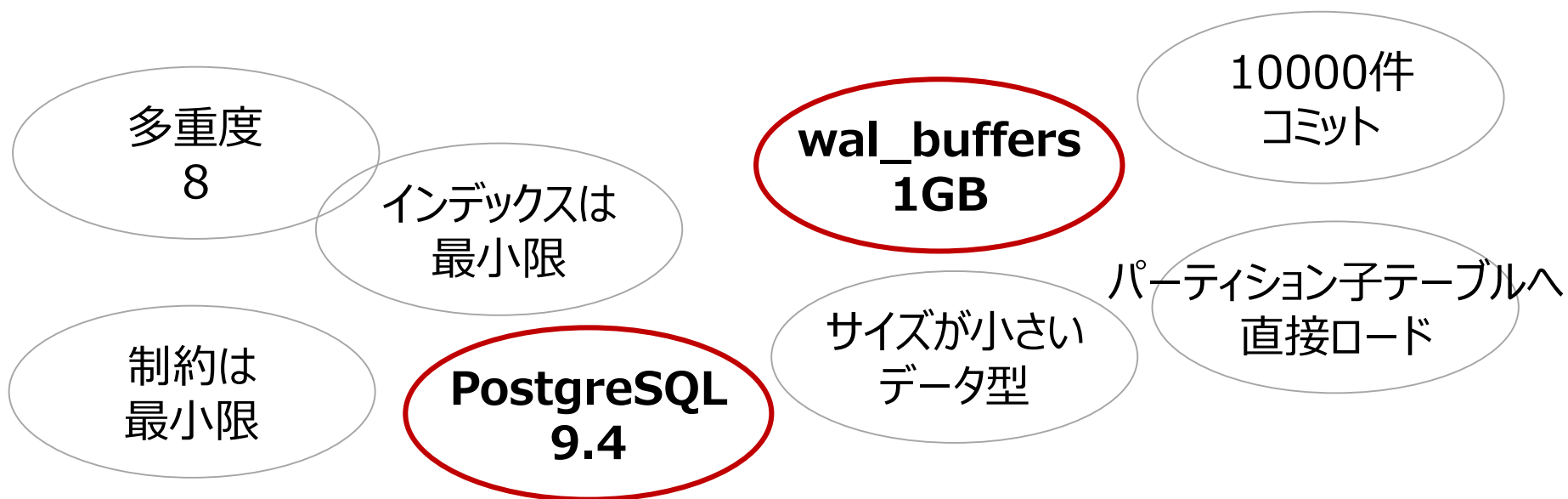
バージョン？

データ型？

パーティションへの
ロード方法？



**DB設計へのフィードバック
チューニング時の切り札**

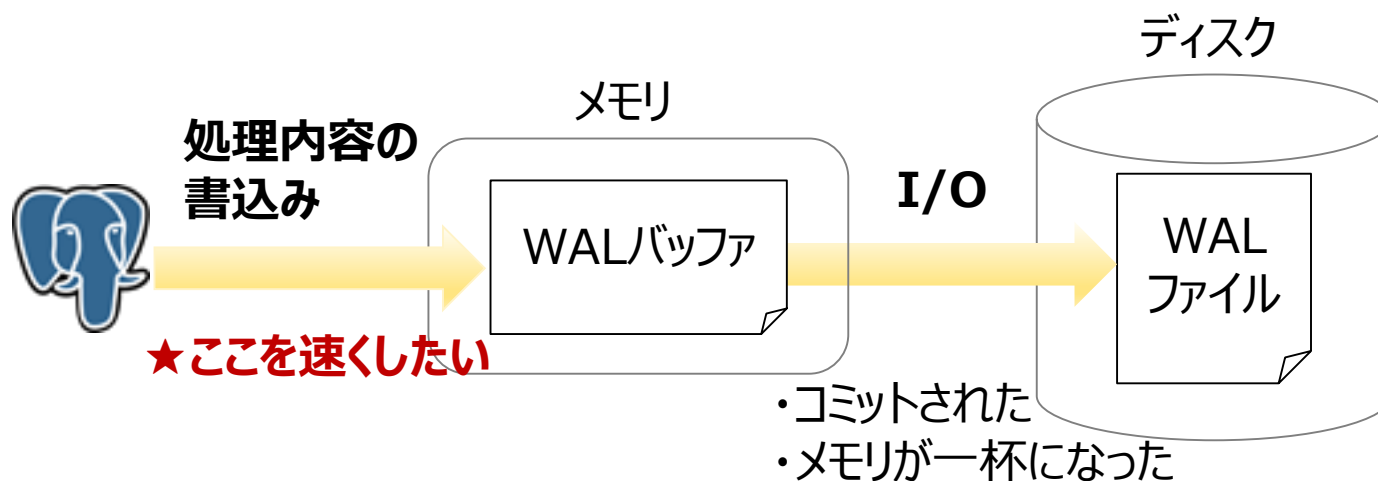


perf (Linux性能解析ツール)

```
19.83% postgres postgres [.] XLogInsert ★  
6.45% postgres postgres [.] LWLockRelease  
4.41% postgres postgres [.] PinBuffer  
3.03% postgres postgres [.] LWLockAcquire
```

WALがネック！

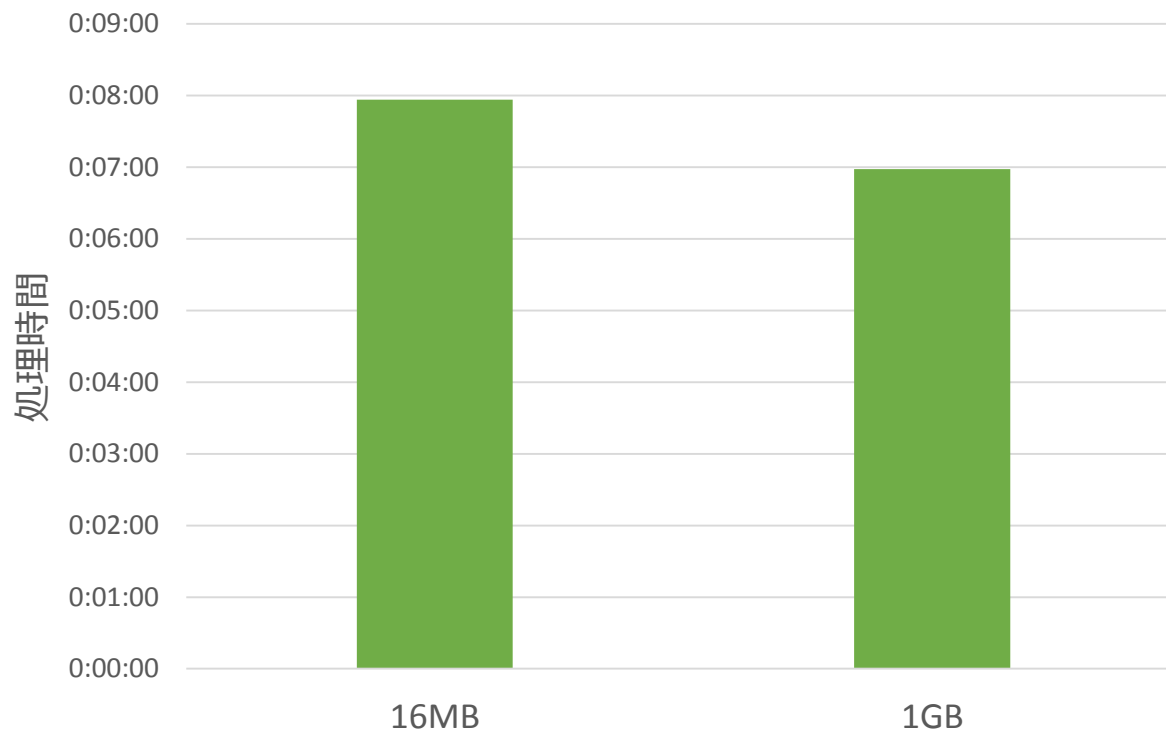
WAL処理




「デフォルト設定の-1で選択される自動チューニングによると、**ほとんどの場合**妥当な結果が得られます。」

PostgreSQLドキュメントより

wal_buffersの効果



※格納時間のみ
(参照時間等除く)

- 
- **WAL性能向上**
 - **JSONB**
 - **GINインデックス性能向上**
 - **ロジカル・デコーディング**

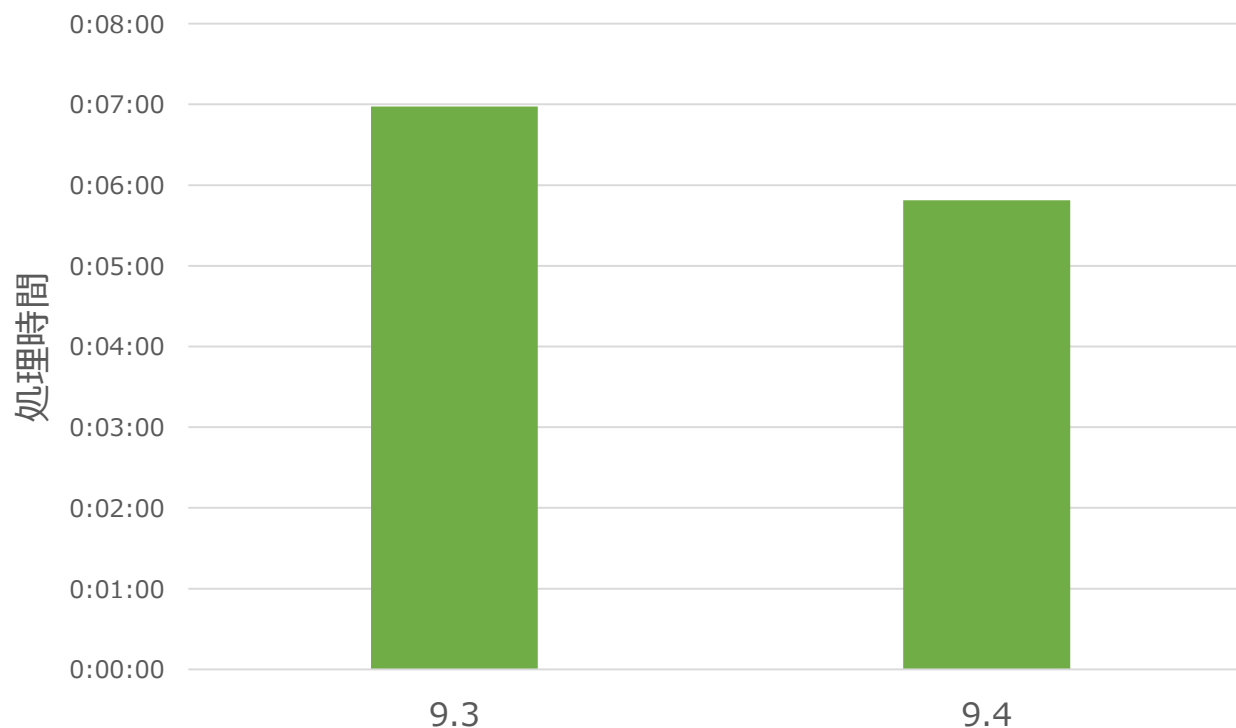
9.3

9.4

2014年12月リリース

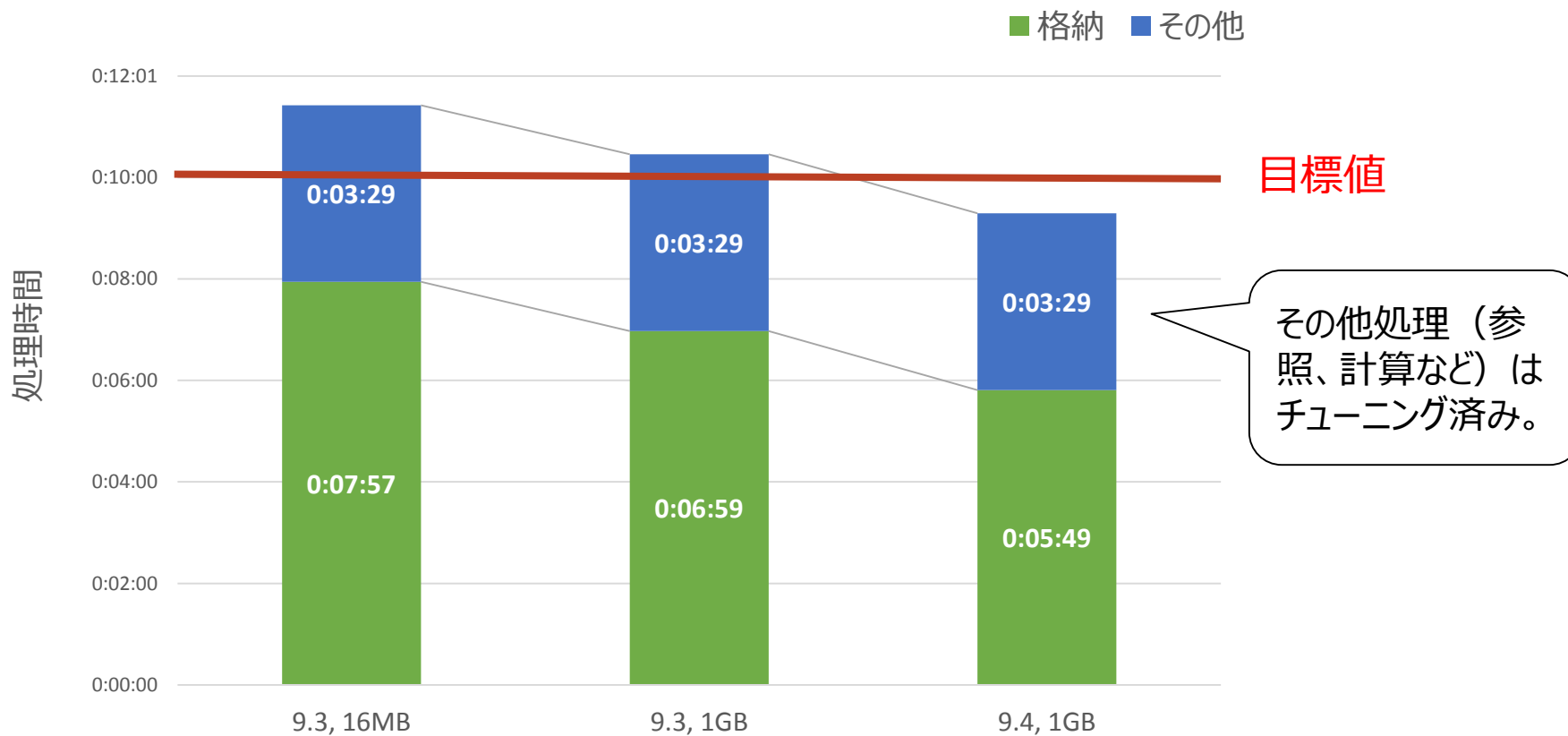
- 当初PostgreSQL9.3を採用予定から**9.4**に変更

バージョンアップの効果



※格納時間のみ
(参照時間等除く)

目標達成！！



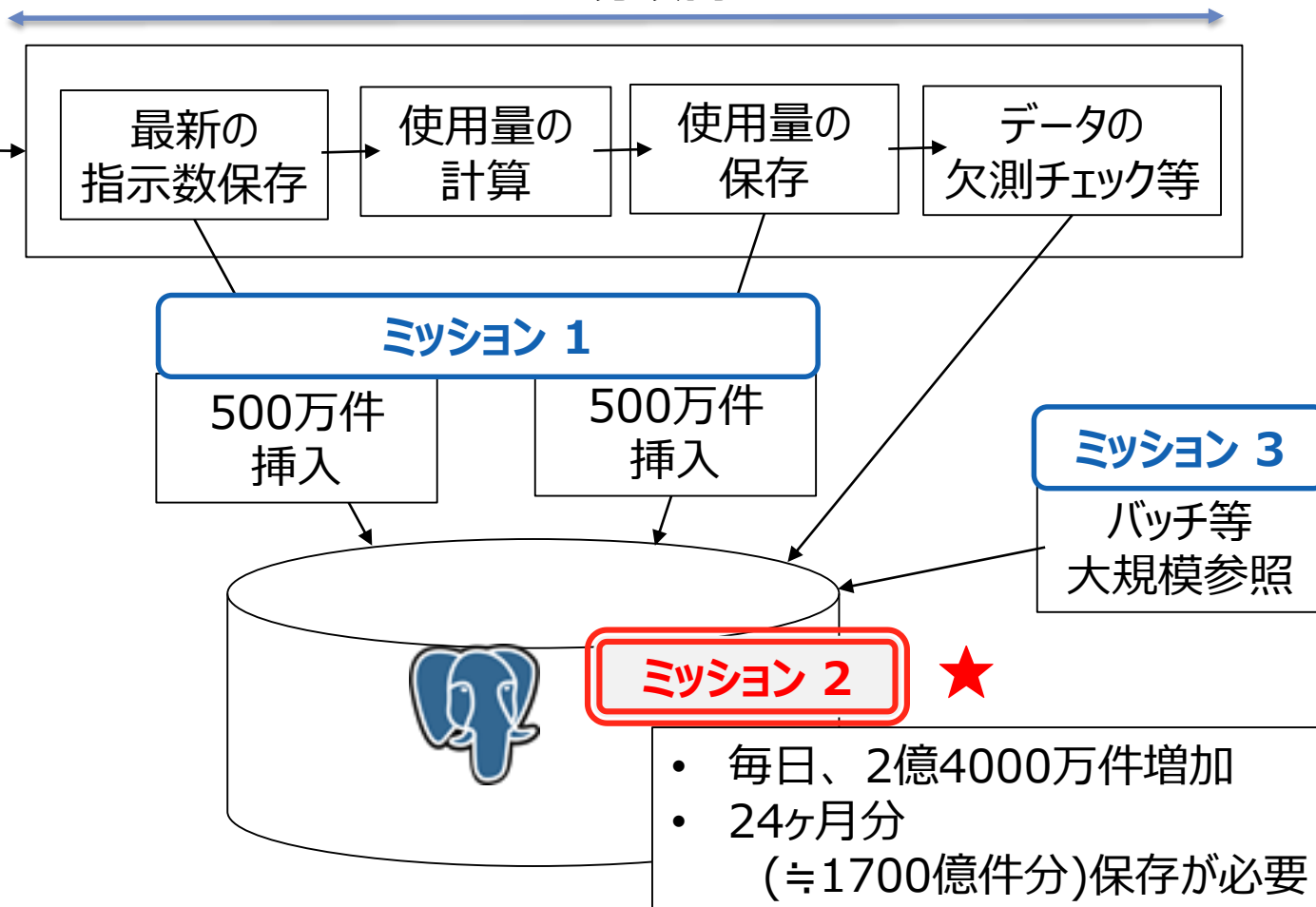
※終局時ピークを想定した試験

(2) 24ヶ月分の大量データを長期保管せよ！

スマートメーター運用管理システムの主要処理

10分以内

30分おきに500万件の
指示数を収集



108TB

- 整数

✓ 範囲、精度をカバーできる**最も小さいデータ型**を使う！

型	精度	サイズ
SMALLINT	4桁(約±3.2万)	2 byte
INTEGER	9桁(約±21億)	4 byte
BIGINT	18桁(約±922京)	8 byte
NUMERIC	1000桁	3 or 6 or 8 + ceiling(桁数 / 4) * 2

- 真偽値

✓ CHAR(1)ではなく、**フラグ**を使う！

型	表現可能なデータ	サイズ
CHAR(1)	文字列長1の文字列	5 byte
BOOLEAN	真または偽の状態	1 byte

- アライメント（配置境界）
 - PostgreSQLはアライメントをまたがってカラムを格納しない

8 byteの場合

1	2	3	4	5	6	7	8
column_1(4byte)				*** PADDING ***			
column_2(8byte)							

72



60

1	2	3	4	5	6	7	8
column_1				*** PADDING ***			
column_2							
column_3				column_4	* PADDING *		
column_5							
column_6	***** PADDING *****						
column_7							

1	2	3	4	5	6	7	8
column_2							
column_5							
column_7							
column_1				column_3			
column_4	column_6						

Column	Type
column_1	integer
column_2	timestamp without time zone
column_3	integer
column_4	smallint
column_5	timestamp without time zone
column_6	smallint
column_7	timestamp without time zone

1行あたり12byte
 節約すると…
 一日あたり**2.8GB** !

挿入時は性能重視で**INSERTモデル**を選択

- サイズが大きいため、長期保管には向いていない

アクセス頻度が低くなる期間からモデルを変換

項番	対象データ	参照頻度	更新頻度	方針	方式
1	当日 ～65日分	高	高	更新性能重視	INSERTモデル
2	66日 ～24ヶ月分	低	低	参照容易なレベルで ストレージ量削減	UPDATEモデル



INSERTモデル

機器ID	日付時刻	値
1	8/1 0:00	100
2	8/1 0:00	100
1	8/1 0:30	300
2	8/1 0:30	200
1	8/1 1:00	500
2	8/1 1:00	300
...
1	8/1 22:30	1000
2	8/1 22:30	800
1	8/1 23:00	1100
2	8/1 23:00	900
1	8/1 23:30	1200
2	8/1 23:30	1000

UPDATEモデル

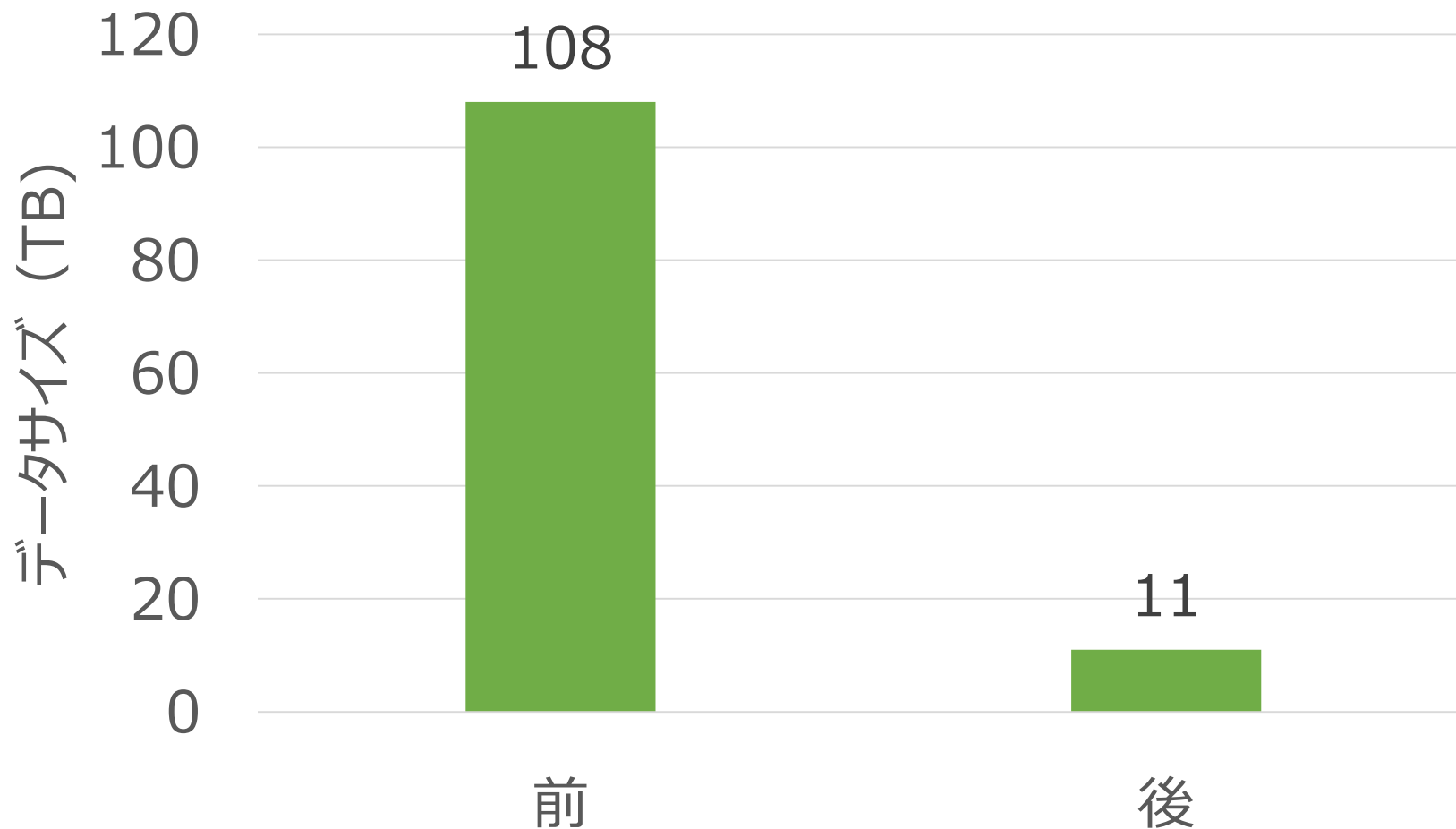
機器ID	日付	0:00	0:30	1:00	...	22:30	23:00	23:30
1	8/1	100	300	500	...	1000	1100	1200
2	8/1	100	200	300	...	800	900	1000

機器ID、日時ごとに1レコード から
 機器ID、日付ごとに1レコード に変換

毎レコードに存在する機器ID,日付の情報を重複して
 持たない。

1日の件数 : **2億4000万件→500万件**
 サイズ : **22GB→3GB**

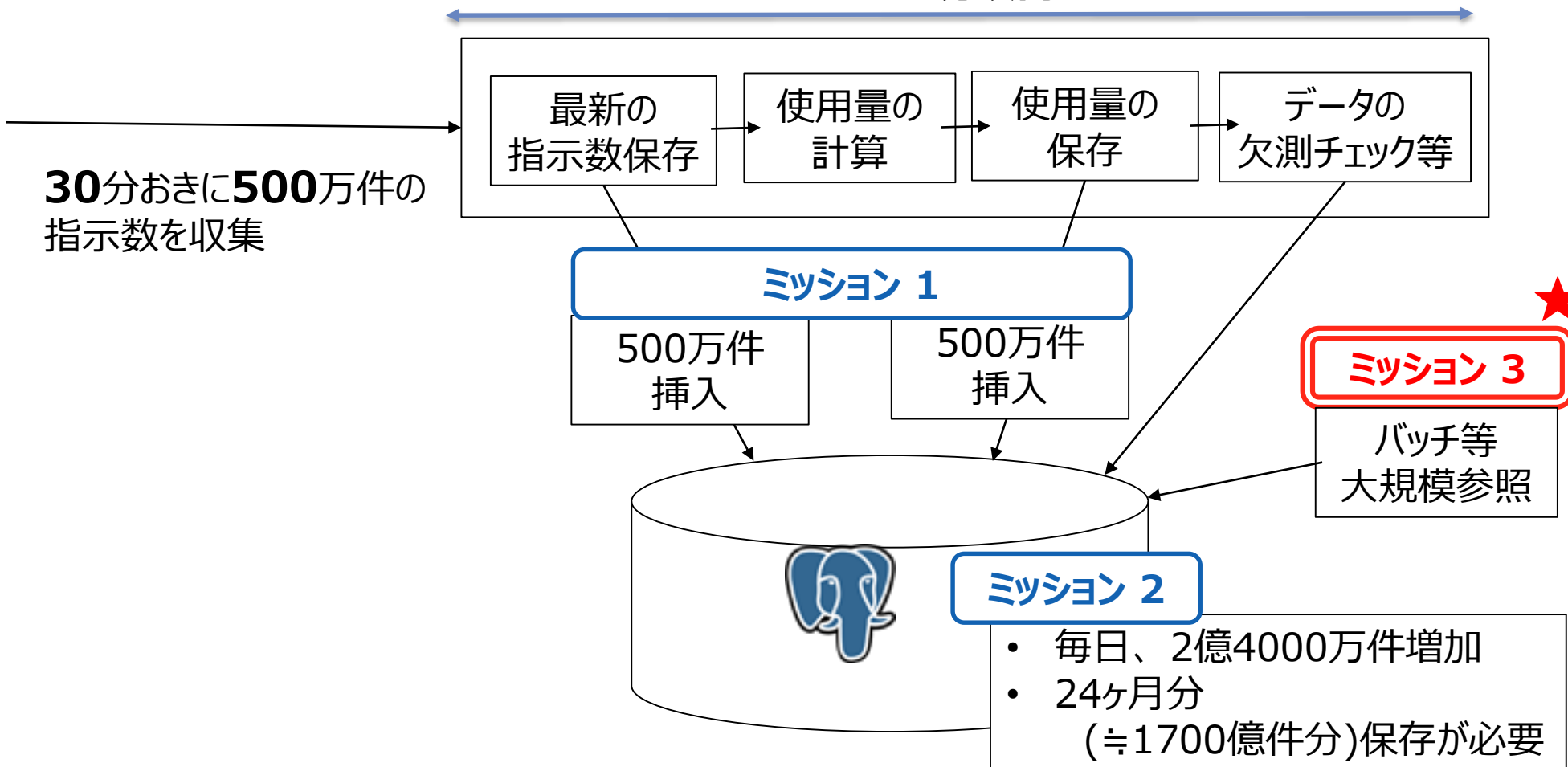
データサイズの縮小



(3) 大規模参照の性能を安定化せよ！

スマートメーター運用管理システムの主要処理

10分以内



本案件では、「**安定して性能要件を満たすこと**」が大切

- 突然の実行計画の変化による性能劣化は避けたい

安定稼動

pg_hint_plan

実行計画制御
特定のプランを選ばせる

pg_dbms_stats

統計情報固定化
プランを変更させない

PostgreSQLのプランナは**ほとんどの場合は正しい実行計画を選ぶ**

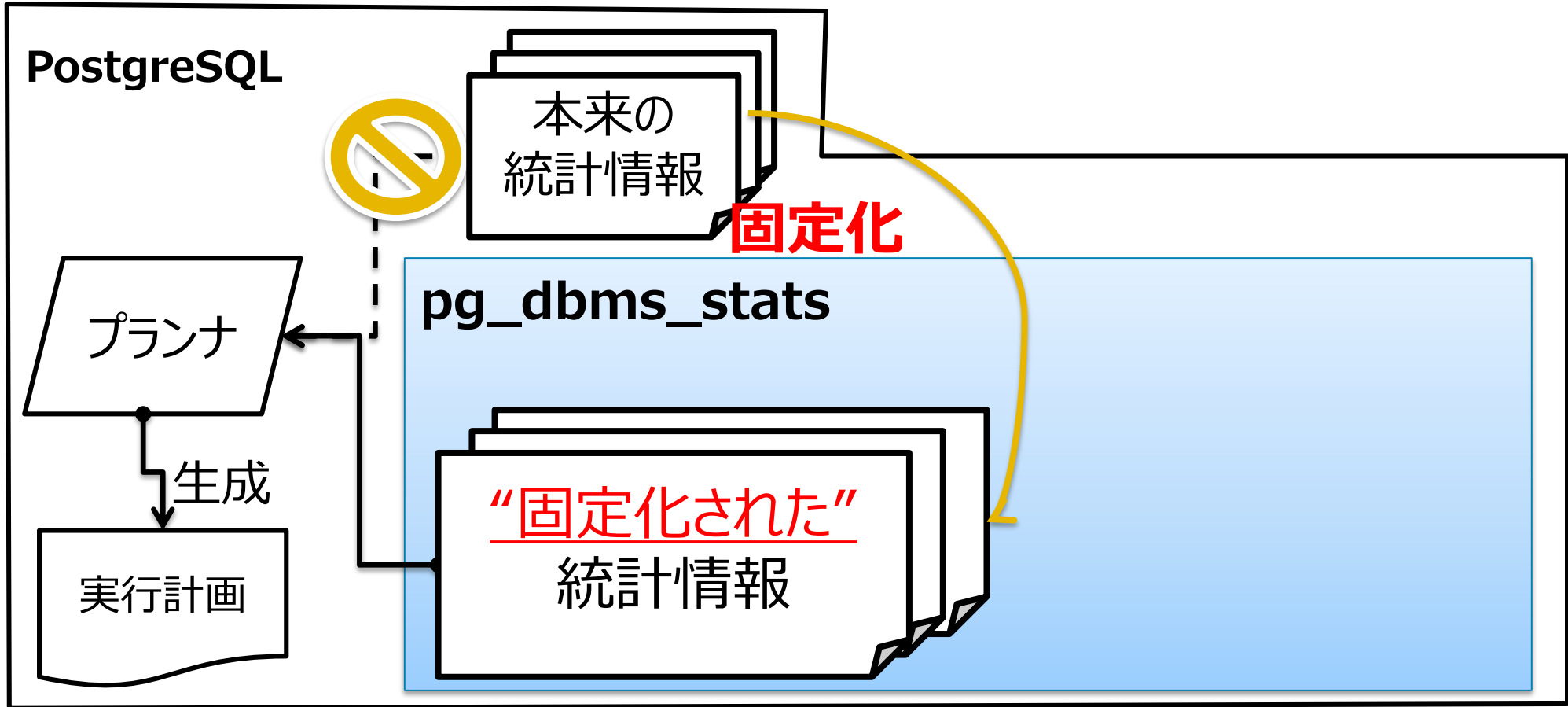
実行計画を固定すると、むしろ性能問題を引き起こすかもしれない

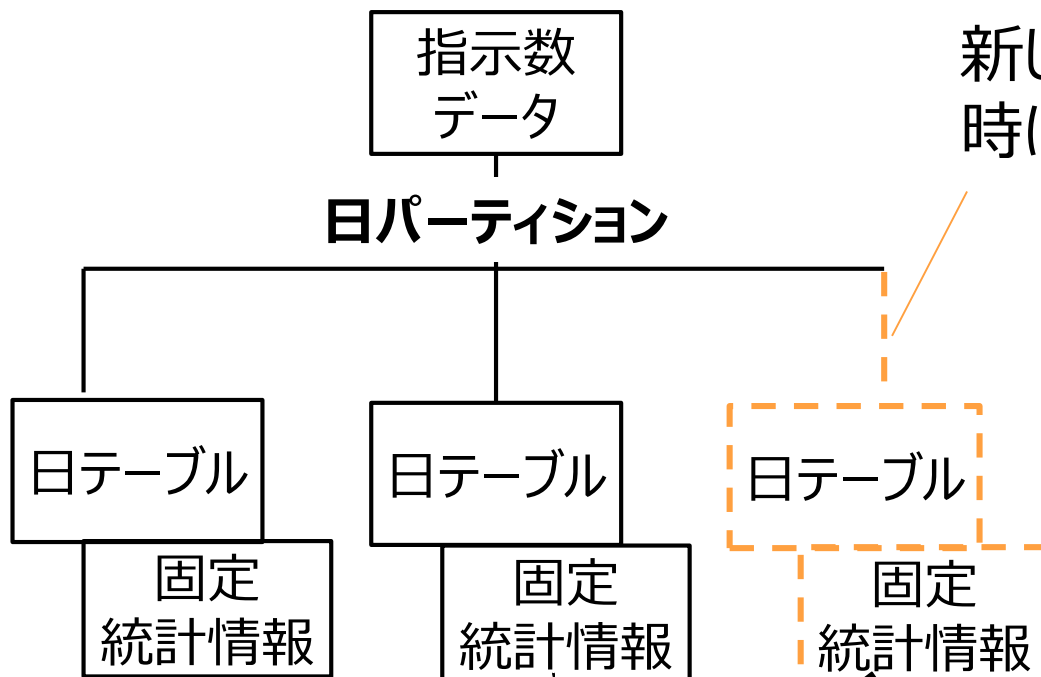
- ある時点で最適な実行計画でも、データの内容/サイズの変化により、**遅い実行計画になりうる**

それでも、プランナが間違えるリスクを極力ゼロにしなければならない。

- バッチ処理のあと直後のANALYZEが終わるまで
- テーブルの結合数が非常に多いケース
- ...

→デメリットを理解したうえで採用





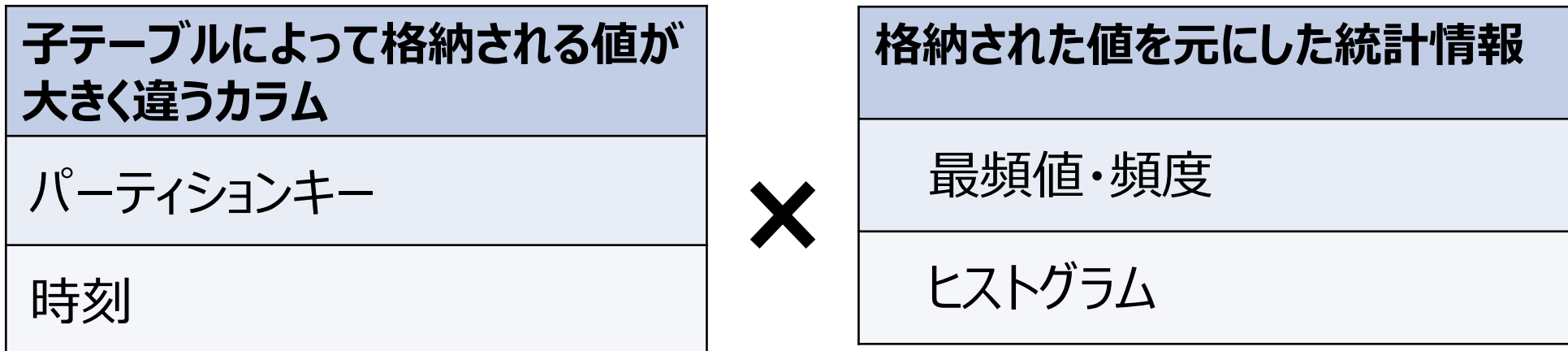
新しいパーティション子テーブルの追加と同時に準備された固定統計情報をセット

ANALYZEをしなくても、
テーブル作成直後から
すぐに最適なプランが得られる

コピー

一部の統計情報はテーブルによって異なる

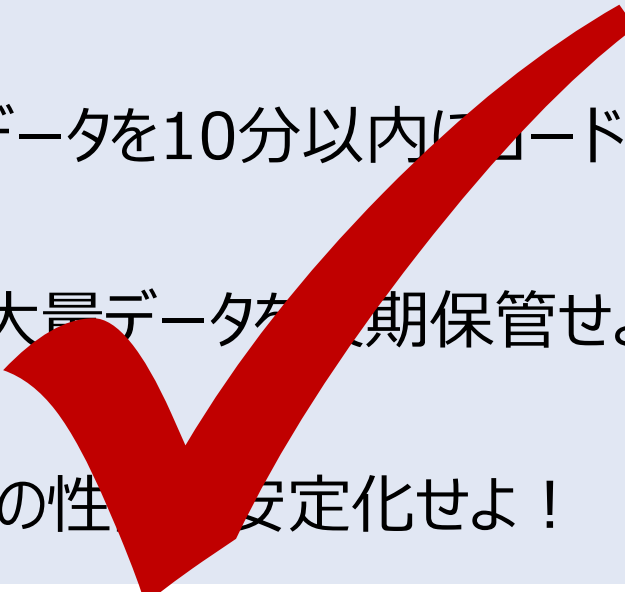
- テーブルOID、テーブル名
- パーティションキー、時刻



- 値は想定可能なので、**ダミーデータ**を作成。
- ダミーデータを**ANALYZEした結果**をセット

たとえば、“8/1 0:00” “8/1 0:30” “8/1 1:00” など。
1日で48種類。分布は一樣になる。

COMPLETE

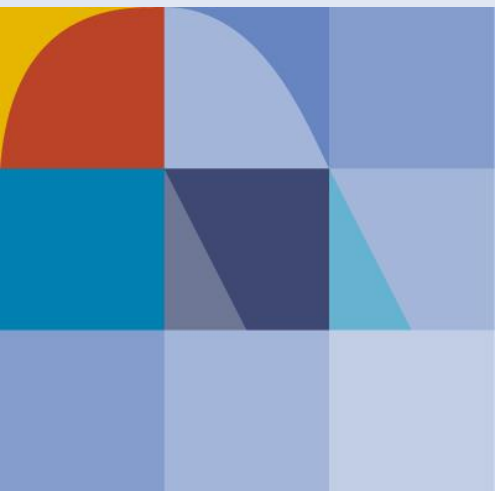
1. 1000万件データを10分以内にロードせよ！
 2. 24ヶ月分の大量データを長期保管せよ！
 3. 大規模参照の性能を安定化せよ！
- 

2016年、PostgreSQL20周年

PostgreSQLはついに大規模社会インフラに採用されるまでとなりました。

しかし巨大なサイズ、厳しい性能要件を持った高難易度のシステムには、PostgreSQLのノウハウに加え、業務特性も活かした工夫が必要です。

システムの成功のために、徹底した事前検証とノウハウでPostgreSQLのポテンシャルを引き出しましょう！



NTT DATA

Global IT Innovator